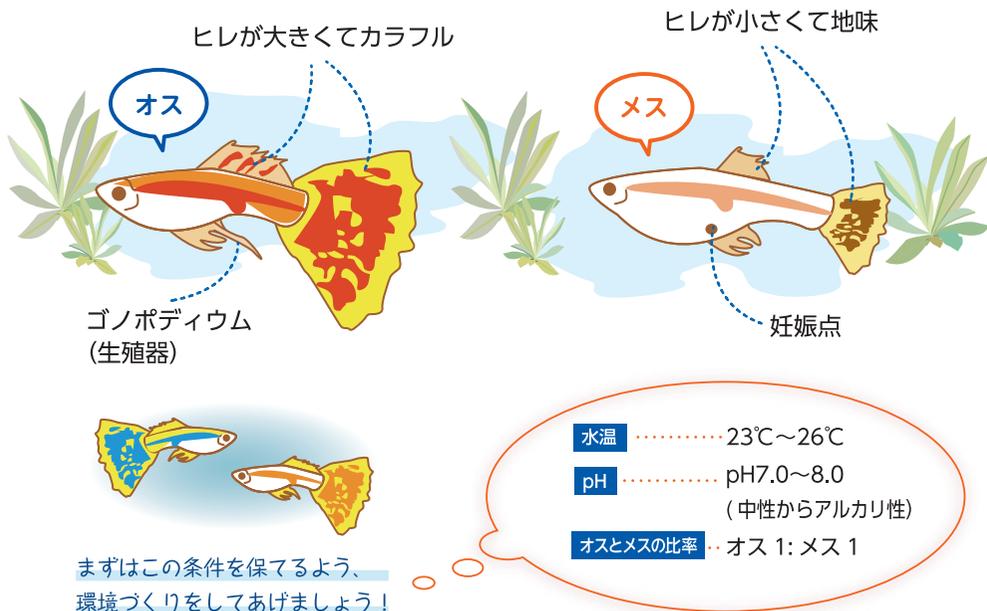


# グッピーの飼い方

## グッピーの繁殖を成功させるポイント

グッピー飼育の醍醐味の一つといえば、「繁殖」を楽しめること。難しく感じる方もいるかもしれませんが、正しい知識をもち、適切な用品を使用すれば簡単に楽しむことができます。そんな繁殖のポイントをご紹介します！

### オス・メスの見分け方

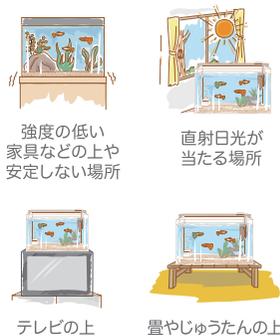


### グッピーと一緒に飼える魚たち

メダカ・ネオンテトラなどの小型カラシン・コリドラスなど



### 水槽が設置できない場所

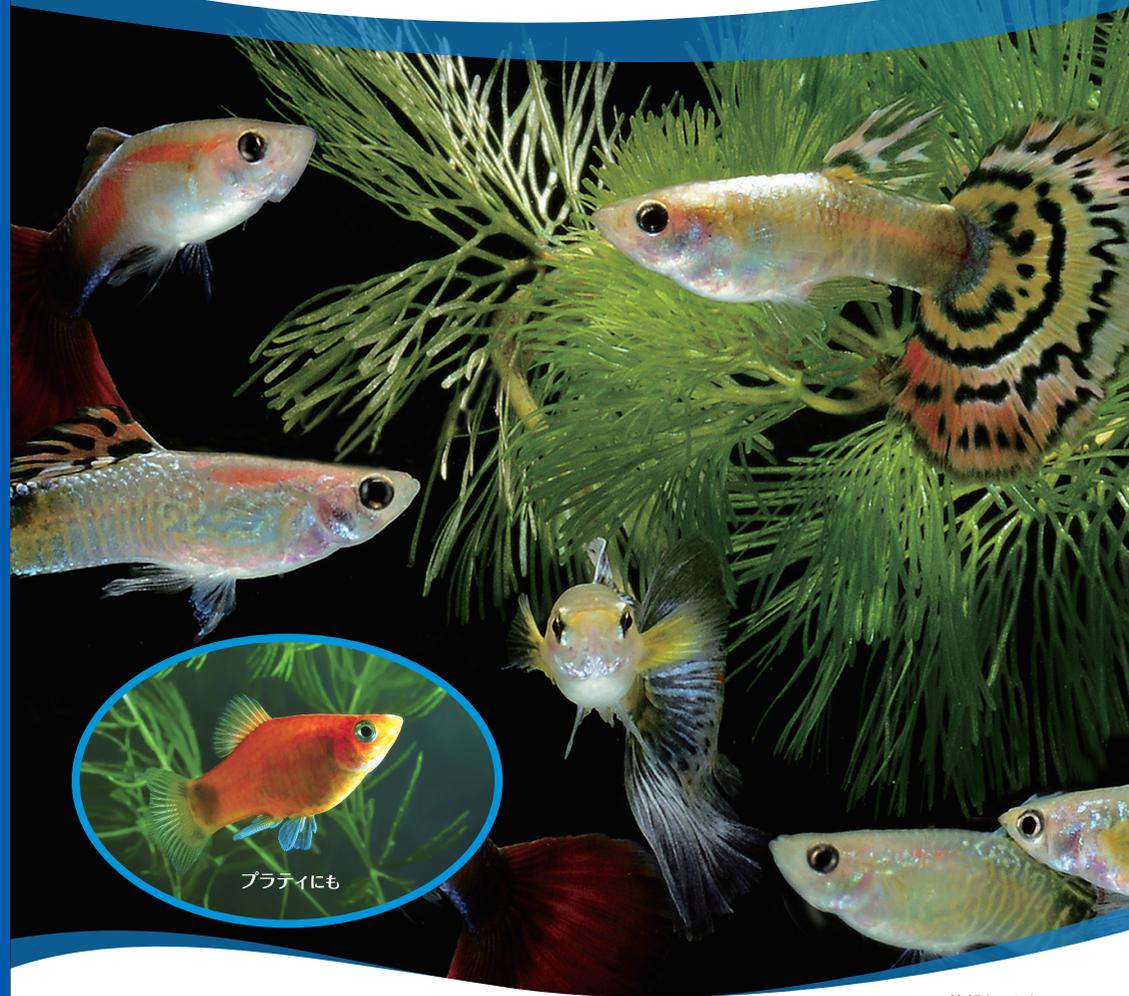


### 最後まで愛情をもって育てましょう

放流されたグッピーが野生化し外来種を駆逐して問題になっている地域もあり、環境省により「生態系被害防止外来種リスト」に指定されています。増やしすぎて無責任に放流しないようにしてください。



25357C



### グッピーとは

卵胎生で、体内で卵を孵化させ、稚魚を直接出産します。1回の出産で20～50匹の稚魚を産みます。水質は中性～弱アルカリを好み、強い水流は苦手です。

情報たっぷりグッピーの飼い方ページ



# グッピーの飼い方

## 水槽選びのポイント!

水槽の大きさによって飼えるグッピーの数が変わってきます。水槽が大きいほど、グッピーにとって快適な環境になります。飼育できる匹数はこちらをチェック!



## フード

グッピーの餌は、粒状・フレーク状などがあります。グッピーの成長に合わせて1日2回(朝と夕方)位で5分以内で食べられる量を与えましょう。



## フィルター

水槽の水をきれいにし、グッピーにとって快適な環境を作ります。水流が緩やかなものがオススメです。



## カルキ抜き

水道水に含まれている塩素を中和させるためのものです。グッピーのためにも用意しておきましょう。



## 水質調整剤

グッピーの健康維持に、強さをひきだす水をつくります。天然抗菌成分配合でヒレや体表を雑菌から守り、稚魚にもやさしい水をつくります。



## 底砂

バクテリアの繁殖を促してくれるので、水質維持にも必要です。



## 照明器具

飼育するグッピーが綺麗に見れます。また、意図的に明るい時間を8~10時間を目安にすると、昼は元気に動き、夜は休むため、健やかに育てることができます。



## 隔離ケース

グッピーの繁殖・稚魚の育成に欠かせないグッズです。稚魚にやさしいやわらかメッシュ。セパレート付きで稚魚を守ります。



## 保温器具

寒い冬はヒーターが必要です。水温を26°Cに保つとエサ食いも上がるため、元気に育ちます。



## グッピーをお迎えする準備

- 水槽を設置する場所を決め、底砂を敷きます。底砂は事前にバケツなどの中で水洗いをしてから入れるようにしましょう。※水洗いが不要の底砂もあります
- フィルターやヒーターを中に入れ、置物や水草をお好みで入れてください(この時点では通電をしないでください)。水を少し入れた方が水草を植えやすくなります。
- バケツに水道水とカルキ抜きを入れた上で水槽内に注ぎ、フィルターやヒーターの電源を入れます。グッピーはビニール袋に入れたまま30分程浮かべておきます。
- ビニール袋の口を少し開け、ビニール袋内と水槽内の水質を合わせます。30分経ったらグッピーを水槽内に放てば完成です。

## ① 親魚をお迎える

購入直後のグッピーは環境の変化で体調を崩す可能性があります。

### 成功ポイント

新しい水槽に慣れるようにグッピーをケアしてあげましょう。

熱帯魚のカルキぬき



熱帯魚のケアウォーター

## ② 健康な親魚を育てる

グッピーの出産数はメスの体の大きさに比例します。毎日しっかり餌を与えましょう。

### 成功ポイント

たんぱく質・脂質のバランスがとれた餌を与え、健康的に育てましょう。



グッピー元気  
パワーフード

## ③ 交尾

グッピーの繁殖の兆候は、オスがメスを追いかけるように泳ぐようになることです。



### 成功ポイント

「繁殖する条件」  
・水温 23~26℃  
・pH7.0~8.0(中性~アルカリ性)  
・オスとメスの比率 オス1:メス1

## ④ メスのお腹が大きくなる

交尾が成功すると、メスのお腹が徐々に大きく膨らんでいきます。これは稚魚がメスのお腹の中で育っているサインです。妊娠マークと呼ばれるお腹の黒い模様が濃くなるのも特徴です。日に日に変化する親魚の様子を見守りましょう。



## ⑩ 交配を楽しもう

グッピーには多彩な表現があり、異なる色や形の親魚をかけ合わせることで、自分だけのオリジナルグッピーを作ることができます。好みの模様やヒシの形を目指して計画的に交配し、オリジナルグッピーを育ててみましょう。

## ⑨ 観賞を楽しもう

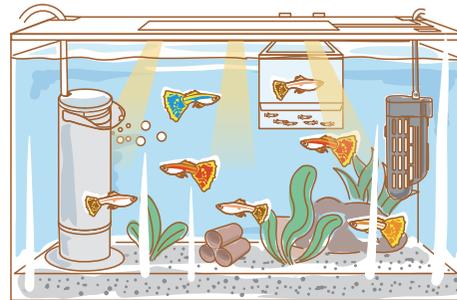
大きく育ったグッピーが水槽で元気に泳ぐ姿をじっくり観賞しましょう。色や動き、群れで泳ぐ美しさは、毎日の癒しやすさを与えてくれます。自分だけのアクアリウム空間で、ペットと一緒に豊かな時間をお過ごしください。



水槽セット

# グッピーの赤ちゃんを

# 育てよう



グッピーは美しい見た目だけでなく、簡単に繁殖を楽しめ、好きな表現を作り出すことができます。グッピー飼育の基礎知識を学んで、美しいグッピーを育てましょう。

## ⑤ 隔離ケースに入れる

出産が近づいたメスは、隔離ケースに移して出産を見守りましょう。ストレスがかかるので、出産が近づいてから入れてあげましょう。

### 成功ポイント

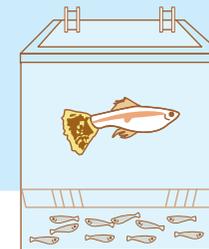
専用の隔離ケースは親魚や他の魚による稚魚の誤食を防ぎます。出産後はすぐに親魚だけケースから出してあげましょう。



隔離ケース

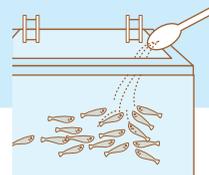
## 隔離前に産まれてしまった時は？

グッピーの赤ちゃんは産まれた直後、水槽の底の方に隠れる習性があります。メスのお腹が凹んでいたら、底の方を探し、見つけたらスポイトで吸って隔離ケースに入れてあげましょう。



## ⑦ 稚魚を育てる

グッピーの稚魚は生まれてすぐに餌を食べることができます。稚魚専用の細かい餌や粉状フレークを1日2~3回ずつ与え、こまめに水換えをしましょう。十分な大きさになるまでは隔離したまま育てます。毎日少しずつ大きくなる様子を観察しましょう。



## ⑥ 赤ちゃんが産まれる

グッピーの赤ちゃんは一度に20~50匹ほど誕生します。(初産で10~20匹)産まれたばかりでもしっかり泳ぐ姿は生命の不思議そのもの。産まれた稚魚が安全に成長できるよう、こまめに観察し、水質や餌に気を配りましょう。

## ⑧ 稚魚から親魚へ

約1ヶ月で稚魚は親魚と同じサイズに成長し、オス・メスの区別がつくようになります。オスはしりビレが尖り、メスはしりビレはそのまま、はらビレとしりビレの間に妊娠マークと呼ばれる黒い点が出てきます。特定のペアで繁殖したい場合はこの段階でオス・メスを分けて飼育しましょう。



# グッピーのかんさつ日記

なまえ

オスを描いてみよう

気づいたこと

---

---

---

---

産まれたての赤ちゃんを描いてみよう

気づいたこと

---

---

---

---

メスを描いてみよう

気づいたこと

---

---

---

---

産まれて1ヶ月たった稚魚を描いてみよう

気づいたこと

---

---

---

---

